

K S K Q どかどかつうしん No. 242



とくてい ひ え い り かつどう ほうじん じりつ し えん
特定非営利活動法人いばらき自立支援センター

ぽぽんがぽん News

ねん がつ
2010年 4月

いばらきし いたく そうだん し えん じぎょう じゆたく 茨木市より委託相談支援事業を受託いたしました

ぽぽんがぽん NEWS をご愛読いただいている皆様、いつも障がい児・者支援へのご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、ぽぽんがぽんでは2010年度より茨木市委託相談支援事業を受託することとなりました。既にご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、茨木市におきましては、2008年11月に「茨木市地域自立支援協議会」が立ち上がっております（概要や詳細な取り組みに関しては、茨木市ホームページをご参照ください）。立ち上がり当初から、ぽぽんがぽんからは私（水野）が全体会委員としての参画と、毎月の定例会等にも参加をし続けていましたが、今年度からは委託相談支援事業所として、協議会事務局において、より中核的な役割を担うことが出来るようになります。

茨木市の委託相談支援事業所として、法人設立時からの理念でもある「どんなに障がいが重くても普通の生活が送れる」ための地域作り・街作りによりいっそう寄与出来るように取り組んでいきたいと思っております。

今年度も、いばらき自立支援センターの取り組みへのご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

みずのまさかず
水野昌和

いばらきし そうだん し えん じぎょうしよ ごじゆうあんじゆん 茨木市の相談支援事業所（50音順）

- いばらき じりつ し えん じぎょうしよ / しよ しゃせいかつ し えん
いばらき自立支援センターぽぽんがぽん / 障がい者生活支援センターすてっぷ 2 1
- そうだん し えん / ちいき し えん
相談支援センターとんぼ / 地域支援センターあいあいみしま
- な の はな しよが いしや そうだん し えん
菜の花障害者相談支援センター / ほくせつ 2 4

もくじ

- 1. いばらき いたく そうだん し えん じぎょう じゆたく ほうこく
茨木市委託相談支援事業受託の報告
- 2. ろくちゃんまちをゆく
- 3. いばらき かい
茨木しよう会より



- 4. いばらき かい
茨木しよう会より
- 5. こめ せん でん じしゆ せいひん つうしんはんばい
お米の宣伝、自主製品の通信販売
- 6. きふきん おれい ねがい
寄付金のお礼とお願い
- バザー用品のお礼とお願い

どかどかつうしんは、ホームページでもご覧いただけます。

<http://popongapon.com/>



ろくちゃんまちをゆくNo. 79

ねんねん とし す ぎ はやく かんじ ひといき いきぎれ
 年々、年が過ぎていくのが早く感じています。たまに一息をつかなければ息切れしてしまいま
 すので、気分転換に銭湯に行つて、ゆっくりとする時があります。(ああ、言っておきますが、気分
 は落ちていませんのでご心配なく(笑))ということで、今まで銭湯めぐりしてきた中でのエピ
 ソードを記事にします。まずはじめに「箕面スパガーデン」です。「箕面スパガーデン」は古く
 からあり、紅葉の時は眺めもバッチリです。車いすで脱衣場まで行けて、脱衣場からは、車いす
 を他のお客さんに妨げないところにおいて、四つんばいで浴槽まで移動しますが、たどりつくに
 は階段がありました。階段は2, 3段なら大丈夫と思うのですが、段の数は28段で、下りなが
 ら数えた覚えがあります。脱いだ後で、後には引けず、他のお客さんには頼めず、座って脚とお尻
 を使いゆっくりと下りて行きました。お風呂が終わっても階段を上るのに時間がかかり湯冷めし
 そうでした。店員さんから教えてもらえず、事前に聞いておくべきでした。このときはお風呂に
 入ったのに逆に疲れました。

つぎ いばらきしない ごらく ゆ ぼく ごようたし げんかん ふる ば
 次に茨木市内にある「極楽湯」です。僕のご用達のところで、玄関からお風呂場まではスムー
 ズにいけます。お風呂場内の移動は、いつものように四つんばいで移動しています。ところが、
 お風呂場の床は水はけのためなのか、小石が埋まって凸凹になっていて、私にとっては膝が痛い
 です。おまけに長風呂してしまうと膝の皮がふやけて、移動すると膝から出血したこともあり
 ました。大がかりな設備の事なので改善は難しいと思いますが、お風呂用の車いす等の提案をし
 ておきました。今では、膝の重心をずらして移動したり、ときにはタオルや膝用のサポーター
 を膝にあてて対応しています。「箕面スパガーデン」よりは、ゆっくり出来るかなといった感じ
 でした。

つぎ いばらきしない あたらしいほう せんとう ゆ この せんとう は新しいだけあって、バ
 リアフリーになっており、脱衣場や浴槽まで簡単に行けて、移動の辛さは感じられませんでした。
 また今までと違うところは、シャワーの高さが調整できることです。高さ調整ができないと、顔
 や耳にあたって辛かったんですが、高さ調整ができることで、直接頭にかけるのでスッキ
 リしました。頭や身体を洗った後に浴槽につかりますが、その時にバイトの方に「電動車椅子
 を移動させてください」と言われました。友達と二人でしたが、今戻るわけにもいかず、浴槽から早め
 に出て、電動車椅子を移動させました。私も他のお客さんの妨げになるような置き方はしてい
 なかったんですが、入る前に伝えてもらえればと思い、店員さんに事前に伝えてもらうようにお
 願いをしておきました。

いじょう せんとう しょうかい せつび あたらしく
 以上、3つの銭湯のエピソード紹介しましたが、設備については、新しくなればバリアフリ
 ー等が考えられてきていますが、店員さんの対応については、実はあまり変わっていません。
 バリアフリーはハード面(設備)とソフト面(店員の対応)が変わって本当のバリアフリーだと
 思います。言い過ぎると嫌がられるし、けど言わないと変わらないし、とても微妙なところだ
 が、諦めずに困った事があれば伝えていこうと思っています。



ぶんせき ろくじょうともあき
 文責：六 條友聡

いばらき かい
茨木しょう会より

対 市 交 渉

～庁内実習実施に！～

2010年2月23日(火)、茨木しょう会と茨木市の話し合いを持ちました。



保育・教育、作業所・日中活動、労働、生活、権利擁護に関して、茨木市の取り組み状況、課題改善状況を確 認し、協 議を行いました。

今回の話し合いにおいては多くの進展がありました。そのなかでも最も大きなこととしては懸案であった庁内実習が実現したことです。茨木市として熱心に取り組んでいただいていることに感謝をいたします。

私たちの求めてきたことは、どれだけ重度の障がいがあっても、分離されることなく、地域社会のなかであたりまえに生活できること、そのために必要な地域支援施策の確立です。

今回の話し合いにおいても多くの障がい当事者が声をあげました。その声はいたってシンプルであり、人間としての最低限の要 求です。

今後とも各課題について、継続して取り組み、誰もが住みやすいまちづくりの一環として、障がい当事者の立場から働きかけを続けていきますので、市民のみなさまにおかれましては引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



会長 坂本達

忘 年 会

～今回も盛大に賑やかに～ 2009年12月25日(金)



福祉文化会館 302号室にて

会場を9月初日抽選で無事におさえることが出来、とにかく一安心。「会場の定員に限りがあり定数で締め切りに・・・」と申しこみようし案内を。案内から日が経たないうちにどんどん申し込みがあり今年も定数一杯130名の参加者でした。一堂に会せるせっかくの機会、皆さんに茨木しょう会事務局・関係者から来年度30周年を迎えることも含め一言ずつ。又、いばらき自立支援センター「ぽぽんがぼん」のスタッフからも。「ぽぽんがぼん」のたくさんのスタッフ・ヘルパーさんにより当事者の生活が成り立っている事、支えて貰っている事を再認識しました。年に一度の勢揃いに本当に楽しい3時間・・・あつというまででした。当日は25日でクリスマス、配達依頼したピザ屋さんもサンタクロースの服装で届けて下さり会場の雰囲気も華やぎました。食事も美味しくいただき、メンバーさんたちの体ごとノリノリの大合唱にみんなも手拍子、最後は全員参加のビンゴ大会！で大盛り上がりの忘年会でした。今回はつながりまつりの時に重ねてゴミ収集していたのを参考にし、お弁当やピザ、オードブルの器や紙コップ、紙皿を重ねて片付ける事にしました。皆さまにも協力頂いたおかげでゴミの嵩も減らすことが出来ました。準備段階から当日、又後日のゴミ出し・・・迄と、いろいろ皆様にご協力頂き本当にありがとうございました。(村上)



いばらき かい
茨木しょう会より

冬休みのキッズ・まちくり



だい かいめ ねん がつ にち きんようび
第1回目：2009年12月26日(金)ハートフル
だい かいめ ねん がつ か かようび いばらきしたみたいいくかん
第2回目：2010年1月5日(火)茨木市民体育館

ことし ふゆやす かい かいさい
今年の冬休みには、2回のキッズ・まちくりを開催しました。



ふゆやす はい だい かいめ ぼうねんかい
冬休みに入りたての第1回目には、「キッズ忘年会」として、ハートフルでお好み焼き作りをしました。沢山の材料を、切ったり、すりおろしたり、フライパンで焼いたり。難しそうなことも色々ありましたが、みんな一生懸命頑張って作業をしていました。子どもたちが、にがてこときょうりよくたすあつくついているすがたほほえこんかい
姿はとても微笑ましかったです。今回はじめてのこのやづくしつぱいしょうず
お好み焼き作りでしたが、失敗することなく上手に作ることができました。おかわりをする子どもたちもおおじぶんつくこのや
多く、自分たちで作ったお好み焼きを、とてもおいしそうに食べていました。



だい かいめ いばらきしみんたいいくかんだい たいいく
第2回目には、茨木市民体育館第3体育室で自由遊びをしました。子どもたちにとって、既におなじみの体育館自由遊び。ヘルパーさんやボランティアさんと一緒に新しい遊びを考えて遊んでいた子ども。今まで苦手だったことに参加できた子ども。日に日に成長する姿を見せてもらいました。今回も、元気いっぱいの笑い声と足音が響き渡る、楽しい体育館自由遊びになりました。



ボランティアさんにもたくさん協力していただきました。ありがとうございました。
じかい はるやす かいさい よてい きょうりよく
次回のキッズ・まちくりは春休みの開催を予定しております。ご協力よろしくおねがいた願致します。

「ぽかぽか」のおいしい減農薬米



とってもおいしいお米をお届けいたします。みなさんぜひ、お試し下さい！！

* 仕入れ・配達開始予定日

4月6日(火)、20日(火)はコシヒカリ

5月11日(火)、25日(火)はコシヒカリ

配達開始予定日の1週間前に発注をしますので、それまでに注文・変更をお申し出下さい。
お申し込み、配達等お問い合わせ・・・

「ぽかぽか」お米の配達担当：山本 電話 & FAX 072-637-0115

「アルミ缶」あつめています！

回収ボックスは、「どかどか」「ぽかぽか」東和苑の公園にあります。

ゴミ袋3袋以上であれば回収に伺いますので、ぜひご連絡下さい！

ちなみに、月曜日は主原・水尾方面、水曜日は東和苑花園方面に回収に出ています。

「どかどか」072-637-6882 (ひろさわ)迄。



どか・ぽか

通信販売



【ご注文・お支払い方法について】 メールでの注文も始めました

下記の表に記入の上、メール (poponga_doka@yahoo.co.jp)

FAXまたは郵送でお申し込み下さい。

商品と振り込み用紙をお送りします。

代金を1ヶ月以内にお振り込み下さい。

郵送料はお客様ご負担となります

「どかどか」「ぽかぽか」商品一覧表

注文数は「セット数」でお願いします。

品名	内容	価格	内容	注文数
1001	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 無地	
1002	てすきはがき	1セット 5枚	¥100 テマーク付	
1003	てすきふうとう	1セット 5枚	¥200 定型内サイズ* 郵送可	
1004	ミニメッセージカード	1組	¥100 カードと封筒のセット	
1005	一筆箋(いっぴつせん)	1セット 10枚	¥150 無地	
1006	ひとつことカード	1セット 10枚	¥150 名刺サイズのカード	
1007	アクリルタワシ	1コ	¥50 手編み	
2001	すてんしるはがき	1セット 2枚	¥100 絵柄入り	
2003	ミサンガ	1本	¥300 手編み	

【ご注文書】 どかどか072-637-6882

(フリガナ)
おなまえ

TEL - -
FAX - -

〒

お届け先ご住所

「センター寄付金」へのご協力ありがとうございました

12/8～3/8まで

村上様 小野様 坂本様 岡下様 太田美雪様 鎮山様 西村様
その他たくさんの皆様 ありがとうございます。



2001年2月よりNPO法人として活動を開始し、9年が経ちます。地域に根ざした障がい者支援活動を継続していく中で、事業規模が年々大きくなってきています。すると、事業を運営していくための運転資金も年々大きくなっていきます。そのため、皆様からのご寄付がありましたらとても助かります。

少額でも構いませんので、何卒皆様のご協力をお願いいたします。

郵便局 郵便振替口座番号 00950-5-314522

口座名 「いばらき自立支援センターばぼんがぼん」

通信欄に『センター寄付金』とおかきください



アルミ缶・バザー用品・牛乳パック等のご提供ありがとうございました

12/8～3/8まで

三好様 坂本様 岡崎様 中野様 井上様 仮様 花城様 田井様 前川様 牧野様
大阪府青果卸売協同組合様 佐竹食品様 三共住宅様 西河原小学校様 小林様 吉田様
上野様 カヤマ様 ナカ様 谷田様 池町様 山下様 丸野様 鈴木様 下川様 泊様
その他たくさんの皆様 ありがとうございます。

バザー用品提供お願いします

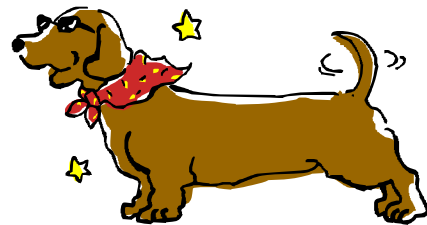
『衣類』子供・大人・新品も古着もOK(しみ、破れのないものをお願いします)

『日用品』雑貨・カバン・新品食器等(大型、電化製品はお受けできませんのでご了承ください)

(ご持参いただけると大変助かります)

「ほかほか」主原町13-3 TEL: 072-637-0115

「ふかふか」南安威2-6-20 TEL: 072-643-6898



編集者:「障害者」の生活をひろげる場「ほかほか」 Tel/Fax (072) 637-6882

〒567-0842 茨木市五十鈴町7-29シティコーポ 五十鈴1F

発行人: 関西障害者定期刊行物協会 〒536-0023大阪市城東区東中浜3-5-16タカマンション1F

定価50円



一九九一年九月三日第三種郵便物認可 毎日発行